

2. 火山の概況

(平成16年12月2日～平成16年12月8日)

雌阿寒岳、十勝岳及び樽前山では、噴煙の状況に変化はなく、火口の高温状態が続いていたと推定される。

浅間山では火映が観測され、多量の火山ガスが放出されている。火山活動度レベル（以下レベルと記載）は3。

三宅島では小規模噴火が発生した。

阿蘇山では熱的な活動のやや活発な状態が続いている。レベルは2。

霧島山では御鉢の噴気活動がやや活発であった。

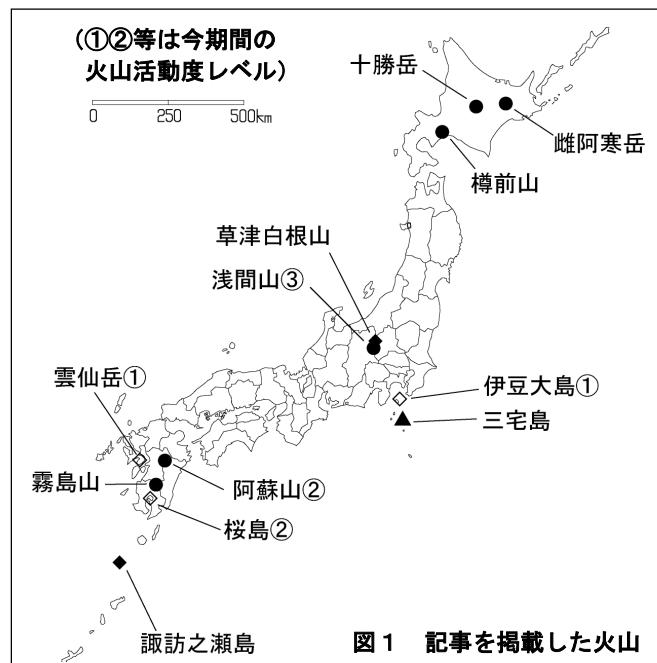


図1 記事を掲載した火山

表1 最近1か月に記事を掲載した火山

号	対象期間	浅 間 山	伊 豆 大 島	阿 蘇 山	雲 仙 岳	桜 島	雌 阿 寒 岳	十 勝 岳	樽 前 山	草 津 白 根 山	三 宅 島	福 徳 岡 ノ 場	霧 島 山	薩 摩 硫 黄 島	諸 訪 之 瀬 島	
		レ ベル	記 号	レ ベル	記 号	レ ベル	記 号	レ ベル	記 号	レ ベル	記 号	レ ベル	記 号	レ ベル	記 号	
50	12/2-12/8	③	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	
49	11/25-12/1	③	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②
48	11/18-11/24	③	▲ ① ◆ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②
47	11/11-11/17	③	▲ ① ● ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②
46	11/4-11/10	③	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②	● ① ◇ ②

注2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、変化があった観測データ項目を示す。

注1 記号の意味

- ▲：噴火した火山
- ：活動が活発な状態にあるか、もしくは観測データ等に変化があつた火山
- ◆：前期間まで▲や●で掲載し、その後の状況等を掲載した火山
- ◇：その他記事を掲載した火山
- ①②等の丸付き数字：火山活動度レベル

● 雌阿寒岳 [熱]

ポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙の状況に変化はなく、高温の状態が続いていたと推定される。

● 十勝岳 [噴煙・熱]

62-2 火口の噴煙活動は活発な状態が続いており、高温の状態が続いていたと推定される。遠望カメラによる噴煙の高さは火口縁上おおむね 200mで推移した。

● 樽前山 [熱]

A火口およびB噴気孔群の噴煙の状況に変化はなく、高温の状態が続いていたと推定される。

◆ 草津白根山

火山性微動の発生はなく、地震活動、遠望観測、地殻変動等の観測データにも特段の変化はなかつた。

● 浅間山 [火山ガス・熱・噴煙・火映・地震・微動] レベル3（山頂火口で小～中噴火の可能性）

今期間、噴火は観測されなかった。

7日に実施した火山ガス観測では、二酸化硫黄の放出量は1日当たり2,600～4,700トンと依然多い状態であった(前回(11月26日)は2,000～3,000トン)。

8日に行った上空からの観測¹⁾では、火口内の地形は噴煙のため確認できなかった。赤外熱映像装置²⁾による観測では、火口底の最高温度は411℃であった(前回(11月24日)は571℃以上)。

白色噴煙が山頂火口より連続して噴出しており、最高で火口縁上500mまで上がった。2～4日及び6～8日に山麓の高感度カメラで火映が観測され、2日、6日及び8日には火口の南約8kmの軽井沢測候所で肉眼でも観測された。

火山性地震は562回(1日当たり66～102回)、火山性微動は10回観測され、ともにやや多い状態だった。

1) 長野県消防防災ヘリコプターにより、東京大学地震研究所と気象庁が実施。

2) 赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感じて温度を測定する測器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、大気その他の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。

◇ 伊豆大島 レベル1（静穏な火山活動）

地震活動、噴煙活動、地殻変動等の観測データに特段の変化はなかった。

▲ 三宅島 [噴火・降灰・地震・噴煙]

2日16時45分に小規模な噴火が発生した(詳しくは前49号を参照)。また、8日朝、火口の東側約3kmの地点で微量の降灰が確認された。夜間の噴煙の状況は不明であったが、7日17時～8日06時の間に空振を伴う低周波地震が数回観測されており、そのいずれかで小規模な噴火が発生したと推定される。

2日の噴火後～3日18時頃に地震が多発し、日別地震回数は2日が374回、3日が451回であった。また、2日の噴火に伴うものを含め、震度1以上が観測された地震が4回発生した。

白色噴煙は山頂火口から連続的に噴出しており、最高で火口縁上900mまで上がった。

● 阿蘇山 [熱・噴湯現象・微動] レベル2（やや活発な火山活動）

2日及び8日に阿蘇山測候所が行った現地観測によると、中岳第一火口の状況は、湯だまりの色は灰緑色、量は約8割、表面温度の最高は69°C³⁾(前期間は71°C)で、火口壁の最高温度は134°C³⁾であった(前期間は158°C)。噴湯現象が、2日の観測では湯だまりの中央付近、西及び南西側で、8日の観測では湯だまりの南西側で、それぞれ観測された。

噴煙は白色で噴煙の高さの最高は火口縁上600m(前期間400m)であった。

孤立型微動の発生回数は436回であった(前期間は417回)。継続時間の短い火山性微動の発生回数は1回で、前期間(37回)より減少し、少ない状態であった。地殻変動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

3) 2日の観測結果。8日は温度観測を実施していない。

◇ 雲仙岳 レベル1（静穏な火山活動）

地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも特段の変化はなかった。

● 霧島山 [噴気]

御鉢火口の噴気活動はやや活発で、2日及び6～8日に時々噴気が監視カメラで観測され、その最高は火口縁上300mであった。

◇ 桜島 レベル2（比較的静穏な噴火活動）

期間中、噴火はなかった(前期間もなし)。6～7日に灰白色の噴煙が観測されたが(最高は7日の火口上400m)、それ以外には有色噴煙は観測されず噴煙活動も比較的低調であった。鹿児島地方気象台(南岳の西南西約11km)で降灰は観測されなかった(前期間もなし)。

◆ 諏訪之瀬島

期間中、噴火及び火山性微動は観測されず、十島村役場諏訪之瀬島出張所によると集落（御岳の南南西約4km）で降灰はなかった。

表2 火山情報発表状況

火 山 名	情 報 の 種 類 及 び 号 数	発 表 日 時	概 要
浅 間 山	火山観測情報第164号	2日16:00	前日及び当日00時～15時の活動状況（噴火はなし、噴煙・火映・地震・微動・地殻変動の状況及び上空の風の予想）。レベルは3。
	火山観測情報第165号	3日16:00	
	火山観測情報第166号	4日16:00	
	火山観測情報第167号	5日16:00	
	火山観測情報第168号	6日16:00	
	火山観測情報第169号	7日16:00	
	火山観測情報第170号	8日16:00	前日及び当日00時～15時の活動状況（噴火はなし、噴煙・火映・地震・微動・地殻変動の状況及び上空の風の予想）。上空からの観測結果及び二酸化硫黄放出量観測結果。レベルは3。
三 宅 島	火山観測情報第672号	2日09:30	活動経過ほか（噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想）。
	火山観測情報第673号	2日16:30	
	火山観測情報第674号	2日17:04	16時45分に小規模な噴火発生。
	火山観測情報第675号 ↓（1日2回発表）	3日09:30 ↓	活動経過ほか（噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想）。
	火山観測情報第684号	7日16:30	
	火山観測情報第685号	8日10:40	8日朝、島の東部で降灰を確認。7日夕方～8日朝に小規模の噴火があった模様。 活動経過ほか（噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況及び上空の風の移動予想）。
	火山観測情報第686号	8日16:30	活動経過ほか（噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想）。
阿蘇山	火山観測情報第57号	3日11:00	火山活動は引き続きやや活発（噴湯現象あり、継続時間の短い火山性微動やや多く発生）。レベルは2。